

12月3日(火)

それでも愛しなさい

聖書朗読 ルカ6：27～36

自分にしてもらいたいと望むとおり、人にもそのようにしなさい。

ルカ6：31

無条件の愛はイエス様の教えの様に思われますが、聖書に「無条件の愛」という言葉は出てきません。心理学由来のものであり、他者の受容や愛情を促しています。

それは悪いことではありません。しかし、イエス様は心持ちや感情を超越したことを教えてくださいました。そして、自らの意志による行動をすること、神様ご自身が「恩知らずで意地悪な人に優しく」なされた様に敵を愛することを命じています。

例を挙げてみます。傷つけられたら良いことで返す。あなたを呪う人を祝福する。あなたを虐待する人のために祈る。殴り返さない。無断で物を持って行った人を咎めない。借りに来た人に見返りを期待しないで貸す。難しいでしょうか。確かに難しいと思います。神様にならないこと、イエス様のように行動することは簡単ではありませんね。

神様のなさる無条件の愛とは、行いであり 私たちに良いことをしない人に見返りなしで良いことをすることです。

完璧にこのレベルまで達した人はいないと思います。私たちを祝福する気が全くない人たちをどうやって祝福できるか(もう一度)考えてみましょう。その結果、神様のイメージを蓄えた人になれます。神様の子供になれます。私自身も(もう一度)やってみます。

讃美歌 512

祈り 親愛なるお父様。愛しにくく自己中心だった私を愛して下さり、罪の中にいる私のためにひとり子を死に渡してくださいましたことを感謝します。恵みの霊を私にください。私を無視したり意地悪する人たちにも同じ愛を持って接することができますようお願いいたします。

スティーブンス・S・レムリー
共同編集者

12月4日(水)

いつも祈りなさい

聖書朗読 IIテモテ 1：3-12

この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

使徒1：14

ひざまずいて祈るのはどんな時ですか。神様に助けていただきたい時であり どうしたら良いかを伺いたいと強く感じている時ではないでしょうか。実際に膝をついたまま日常生活を送ることはできませんが、霊的に(心の中や頭の中で)、ひざまずいた状態であることはできます。あなたは独り言を言いますか。独り言を言うのは恥ずかしいことかもしれませんが、実は独り言は役に立つのです。神様に関する独り言は心を耕すことに繋がります。こんな独り言を言ってみてください。「私には主が必要」「イエス様は私と共にいらっしゃる」、「神様の恵みで私は包まれている」、「神様は私と一緒に泣いてくださる」など。自分に向かって言い放った短い言葉は まだ見ぬ真実を思い起こさせてくれます。そして、それらを生活上の習慣にしましょう。それは父なる神様の前に霊的にひざまずくことです。

「主は私の羊飼いなさい」のようにすぐに言える暗唱聖句もあると思います。これもまた主の前にひざまずくことであり、神の道にとどまっていられる方法です。キリストに注意を向けることは孤独や絶望に陥ることを防いでくれます。散歩の時、バスや電車を待つ間、会議が終わるのを待つ間、店員さんを待つ間、小さな真実を静かに言ひましょう。自分はどこにいるのか、何者なのか、誰のものなのかを知るためです。

讃美歌 517

祈り 天と地の主よ。自分の人生をうまく計画して生きることも、潔く生きることも私には できません。今日良い事をするには神様の愛と血とお導きが必要です。私が主にある思いと心に焦点を当てることができるよう。

イエス様のお名前によって。アーメン。

エミリー・Y・レムリー
共同編集者

12月5日(木)

罪を治める

聖書朗読 創世記4:1~16

身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきもの捜し求めながら、歩き回っています。堅く信仰にたつて、この悪魔に立ち向かいなさい。ご承知のように、世にあるあなたがたの兄弟である人々は同じ苦しみを通って来たのです。

I ペテロ5:8~9

今年の初め頃、私が住んでいるコロラド州で、自宅付近の遊歩道をランニングしていた男性がマウンテンライオンに襲われました。幸運なことに、この動物の声を聞きつけ、襲われる寸前で彼は後ろを振り返りました。彼は動物と熾烈な戦いをし、最後にはマウンテンライオンを窒息死させました。縫わなければならない程の傷を何箇所も負ったものの、回復しました。彼はもしマウンテンライオンに後ろから襲われたら、生きていなかっただろうと言っていました。

創世記4章1節から16節にはカインとアベルの兄弟物語が書かれています。カインは大地の実りを主へのささげ物として持ってきました。弟のアベルは自分の羊の初子を持ってきました。神様はアベルのささげ物に目を留めました。聖書にはなぜカインのささげ物は目を留められなかったのか書いてありませんが、このことでアベルが激しく怒ったことは分かります。神様はカインに「戸口で罪が待ち伏せている」「あなたはそれを治めなければならない」と忠告しました。しかし、カインは神様の言葉を無視し罪のない弟を殺しました。罪に打ち勝つのではなく、罪に打ち負かされました。その結果は悲慘なものでした。

毎日私たちは罪に脅かされます。しかし、神様が私たちと共にいてくださり、罪に抵抗したり、罪から逃げたりする方法を与えてくださっているのです。

讃美歌 389

祈り 私たちの愛なるお父様。みことばを通して罪が何かを教えてください、罪を犯さないように忠告して下さってありがとうございます。あらゆる罪に對抗する知恵と力を与えてください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

ロバート・リー
コロラド州 アローラ

12月6日(金)

ノアの信仰

聖書朗読 創世記6:11~22

キリストは御子であられるのに、お受けになった多くの苦しみによって従順を学び、完全な者とされ、彼に従うすべての人々に対して、とこしえの救いを与える者となり。
ヘブル5:8~9

信仰によって、ノアと彼の家族は救われたと聖書には記されています。「信仰によって、ノアは、まだ見ていない事柄について神から警告を受けたとき、恐れかしく、その家族の救いのために箱舟を造り、その箱舟によって、世の罪を定め、信仰による義を相続する者となりました」(ヘブル11:7)。

創世記6章8節では、ノアと彼の家族がめぐみによって救われたことがきわめてはっきりと記されています。ノアは彼の命と将来を、神に託しました。ノアはそのことを口には出しませんでした、行いで示しました。ノアは信仰の手にハンマーを握り、おそらく50年以上もの年月をかけて、周囲の嘲笑と軽蔑と孤独に耐え続けながら箱舟を造りました。これがヤコブが言っている生ける信仰です!

人生をかけて神を信じ、そして神の約束が果たされるのを待つ間、益々私たちの信仰を生けるものとし、主に従っていきたいものです。

讃美歌 270

祈り 親愛なる主、ノアの忠実な信仰に感謝しています。あなた様が私たちを導くとき、ノアのように神への栄光を表すための信仰を示しながらあなたについていくことができますように。新しい命を与えられたバプテスマの時、我が主イエス・キリストの血を通して私たちが救ってくださったことに感謝いたします。

イエス様のお名前によって。アーメン。

スコット・ゲージ
アーカンソー州 フェイエット・ビル

12月7日(土)

神の約束

聖書朗読 創世記15:12~21

一つの国民、諸国の民のつどいが、あなたから出る。 創世記35:11

アブラハムはこの素晴らしい約束を授かりましたが、彼は神がその約束を果たしてくださいと信じ続けることができませんでした。アブラハムは、“神の手助けをする”ために自分も何かをしなければならぬと思ってしまいました。アブラハムはそのために嘘さえもつきました。それでも神はアブラハムをお使いになられました！たとえ私たちが変わりやすいものであっても、神の約束は絶え間なく、そして変わることはありません。

神が約束された「一つの国民、諸国の民」はアブラハムの時代の後も続きました。神はヤコブ、モーゼ、ダビデを使ってアブラハムの子孫を導かれました。私たちは彼らの信仰深い話も、不信仰な話も知っています。神は彼らを通して、神の変わることのない約束を果たされました。機が熟したとき、神はメシアを送られました。

神から目を離さないでいましょう。約束を守ってくださいるのは神だけです。神の約束をあなたの信仰の土台としましょう。最終的に自分を信じてはいけません。弱い人たちも信じてはいけません。彼らは期待を裏切ります。心から主を信じましょう。神があなたにお与えになったものに従いましょう。そして、あなたは変わることのない神の生ける約束のしもべであることを改めて喜びましょう。

讃美歌 404

祈り 主よ、あなた様は揺るがず、変わることのない御方です。あなたは決して約束を破ることはありません。あなたの栄光のためにあなたのしもべとさせてください。

イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

テキサス州 アマリロ
ベバリー・ブレッツ

12月8日(日)

走って！歩いちゃダメ

聖書朗読 創世記39:11~23

あなたは若い時の情欲を避け、きよい心で主を呼び求める人たちとともに
義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。 II テモテ 2:22

孫が就学前の頃、母親から離れて迷子になったことがあります。孫は自分が迷子になったと気づくや否や、その場に座り込み、そこが道の真ん中であったにもかかわらず、そこから動こうとはしませんでした。彼が言うには「迷子になったら、そこに座ってママを待ちなさいとママが言ったから僕はそうしているんだ」だそうです。母親が現れるまで、彼は本当にそこから動きませんでした。

ヨセフがポティファルの妻にそそのかされたとき、ヨセフは彼女から逃げたと聖書は記しています。ヨセフは神が彼に何を望んでおられるかを知っていたので、彼は罪を犯すことなく主人の妻から逃げました。ヨセフは罪から歩いて逃げたのではなく、走って逃げたのでしょうか。使徒パウロは、青年テモテに手紙を書くときに、この話を思い出したのではないのでしょうか。「若いときの情欲を避け、きよい心で主を呼び求める人たちとともに、義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。」別の手紙では、偽りの預言者やお金執着することから逃げなさいと言っています。さらに、コリント教会には偶像崇拝から逃げるようにも言っています。

孫が彼の母親の「座って待つ」の教えに従ったように、悪と対峙したときは、私たちが神の教えに従いましょう。でもその場にいるのではなく、歩いてでもなく、走って逃げるのです！

讃美歌 405

祈り 親愛なる神、悪の企みに気づきますように。そしてあなた様が私たちとともにいてくださることを知って、その悪から走って逃げることができるよう私たちをお助けください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョイス・ハーディン
テキサス州 オースティン